

にてコスミナ・コヅィア氏にシビウ現代建築に関してレクチャーいただく。

②2008年8月17日～8月24日

「シビウ歴史的住居実測+ヒアリング+資料収集」

歴史遺産指定を受けている89戸の住居の中からシビウの居住スタイルの原点ともなった最古の石造建築である14世紀からの建造物5軒（8軒中）の実測と住人、市の役人のヒアリングを行うことで、増改築の変遷を整理した。

③2008年8月25日～8月31日

「シビウ周辺都市悉皆調査+資料収集」

建築的特徴の把握のために、一軒一軒の写真撮影。

④2008年9月1日～9月4日

「シビウ建築の資料収集+シビウバロックレクチャー」

ルーマニア文化省にて、シビウ建築に関する資料を収集するとともに、ハンナディレイ氏にシビウバロックに関してレクチャーを受ける。

5.活動成果

①建築変遷整理

レクチャーや、資料をもとにシビウの建設当初から、近代化を果たす1918年までの建築的特徴を Fig_1 のようにまとめた。

	建築配置	平面+天井	素材
ドイツ植民 初期時代 12世紀半ば-	共通 	共通 	共通
植民都市成熟期 14世紀-	貴族 	共通 円筒ヴォールト 	共通 煉瓦+石 貴族 煉瓦 一般 石
トランシル ヴァニア侯国時代 1526-1692年	一般 	共通 交差ヴォールト 	共通
ハブスブルク 総督府時代 1692-1840年	貴族(邸宅) 貴族(王宮) 	貴族(邸宅) 貴族(王宮) 	共通
ハンガリー ハブスブルク 二重支配時代 1840-1918年	ロの字 アシンメトリー 	シンメトリー ロの字 アシンメトリー 	共通

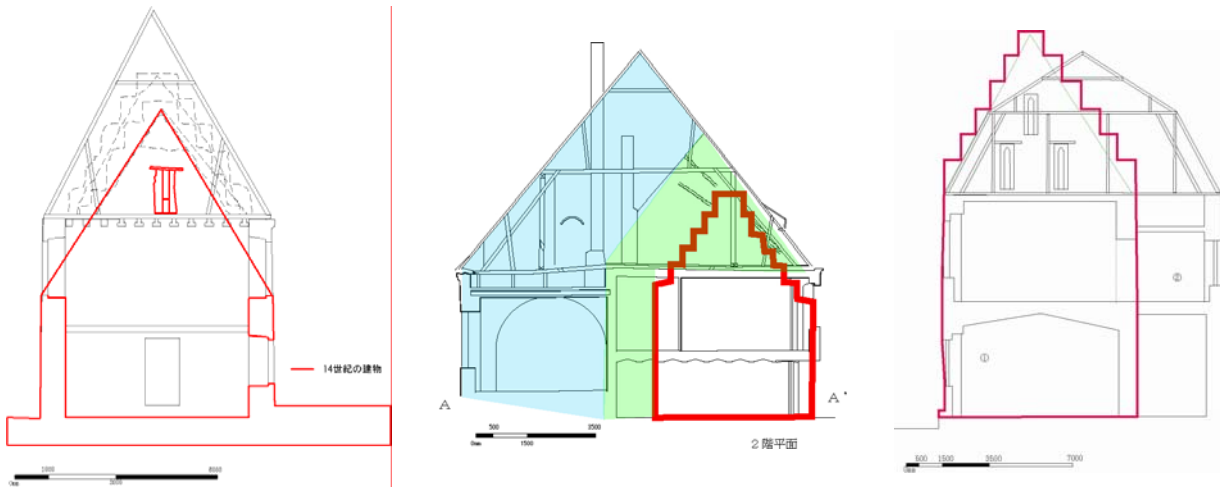
Fig_1

100

② 実

測結果

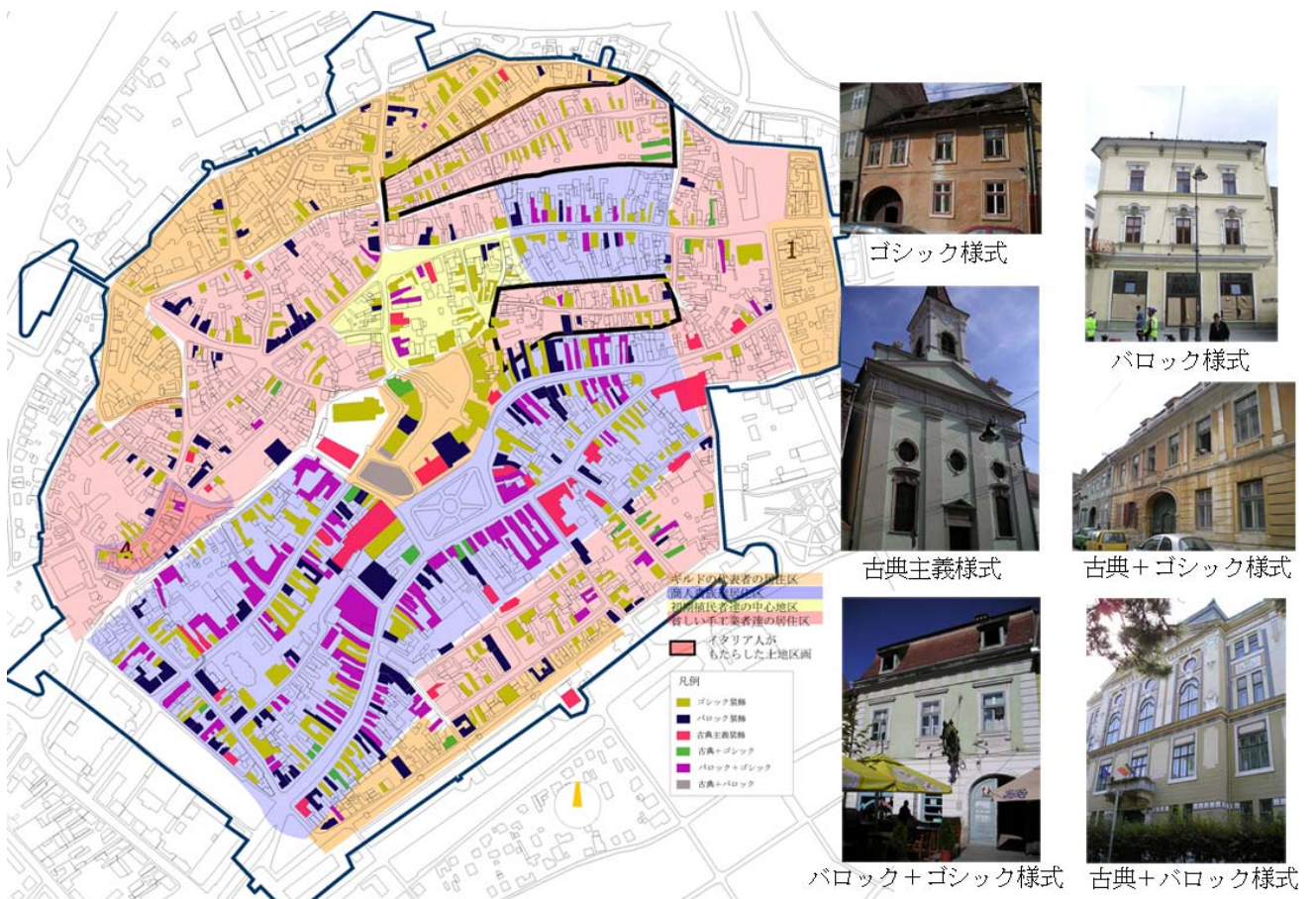
Fig_2 で示されるように屋根裏の妻壁の跡とあわせ建物の躯体自身もかつての建築風景を想起させるものとして保存していることが明らかになった。



Fig_2

③都市との関連性

Fig_3 のように各地区ごとにまとまった建築要素があり、層としてまとまり保存していた。



Fig_3